

安全確認チェックリスト【ライフル射撃】

競技会名	
期　　日	令和　年　月　日（　　）
会　　場	
記載者名	

区分	確認事項	✓
施設 設備 用具	射座で空撃ちまたは射撃を認められているとき以外は、すべてのライフルにセイフティフラッグが挿入されているか。	
	射座において銃器は常に安全な方向に向けられているか。	
	機関部やブリーチは銃器が標的エリアの安全な方向に向けられるまで閉じられていないか。	
	銃を置いて射座を離れるときまたは射撃が完了したとき、銃の機関部を開放して抜弾し、セイフティフラッグが挿入されているか。	
	競技中、銃器を手から離して置くとき、抜弾し、安全のため蓄気レバーまたは装填口は開けたままにされているか。	
	射撃線の前方に作業員がいるとき、銃器を取り扱っていないか。またはセイフティフラッグが必ず挿入されているか。	
	射座以外の射場内で、射場役員の指示による場合を除き、銃器は銃ケースにしまわれているか。	
活動 内容	熱中症を自覚した場合、射撃を中断して申し出るように選手に指示したか。	
	射場に保冷剤などの体をすぐに冷やせる資材を準備しているか。	
	競技中、補助生徒を選手1名につき1名以上を射座後方に待機させているか。	
	選手の健康状態・安全状態に問題がある場合に、顧問・射場役員に速やかに連絡するよう補助生徒に指示したか。	
	選手は水分補給のための飲み物を準備しているか。	
環境 条件等	競技中、無断で射座に入る者がいないか。	
	競技中断中であっても、射座よりも前に出る者がいないか。	
	銃器の扱いに不得手そうな者はいないか。	
その他	主催者や指導者がアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか。	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか。	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか。	

反省・報告（事故、ヒヤリ・ハット含む）

大会終了後に事務局に提出